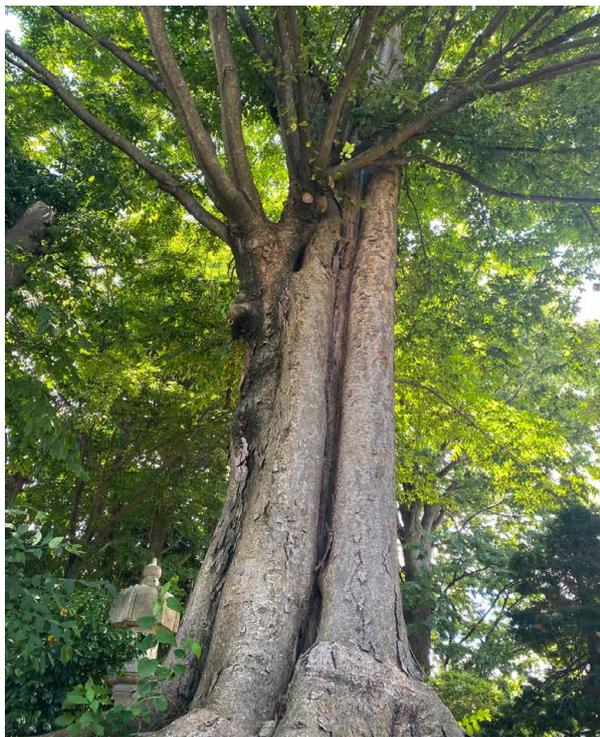


蔵王山安善寺

『布施行』

泰忍 弘



戦火からお寺を護った大樫

六月からすでに猛暑日が続き、六月中旬には長岡が全国一の三十五度を超える気温を記録しました。今年も昨年のような酷暑が続くと思うと気が滅入ってしまいます。

この季節、本堂の暑さほどにもなりません、せめて法要の控室だけでも快適にと、エアコンと冷たい麦茶で暑さを凌いでいただいております。

ご家族の皆さままでご覧ください

◆編集・発行人◆
近藤真弘

〒940-0052
長岡市神田町1丁目4番10
TEL.0258-32-2811

◆スタッフ◆

小林国二・高橋 潔・高橋利春
屋代 健・飯泉隆史・太田匡哉
山内芳次・近藤龍弘・近藤マリ子
近藤久美子

印刷・株式会社印刷



ホームページ



Instagram

また、少し前から法要の控室に何冊かの本を置いてあります。お待ちの間読んでいただく目的で、仏教の本やお子さん用の絵本などです。先日その控室で小さなお子さんがある絵本をお母さんと一緒に読んでおられました。その後お母さんが私に良い絵本ですねと仰いました。その絵本のタイトルは『おおきな木』です。著者はシエル・シルヴァスタインで一九六四年にアメリカで出版され、何十年と親しまれているお話です。お寺にあるのは村上春樹さんの訳した「あすなる書房」から発刊されている絵本ですが、ご存じの方も多いためか、書いていただきます。ある所に大きなリングゴの木が一本あり、少年が子供のころからその木のところで葉っぱを集めて王冠を作ったり、木に登った

り、枝にぶら下がったり遊んでいました。少年はその木が大好きで、木も少年が遊んでくれることが嬉しくてたまりません。しかし少年が成長していくにつれ木で遊ぶことが少なくなり木はさみしくなってきました。成長した少年はたまに木のところに訪れます。木はそのたびに喜びますが、成長した少年にはその時その時の悩みがあります。ある時訪れた少年は楽しむためのお金が欲しいと木に頼みます。木は自分のリングゴの実を売れば良いと全て捧げます。次に少年は家が欲しいと頼みます。木は自分の枝を全て捧げます。次に訪れた少年は船が欲しいと頼みます。木は自分の幹を捧げます。何も無くなった木のところに訪れた年老いた少年は腰を下ろして休める静かな場所が欲しいと

頼み、木の幹に座って休みました。それで木はしあわせでした。このような内容です。実際に絵本で読んでいただくことより素晴らしい内容です。自らの身を捧げて施す、仏教ではこれを捨身しゃしんといい、身を捨てて他に供養する布施行の一つと説かれます。仏教の逸話で飢えた虎の親子に自らの身体を捧げる「餓虎投身」というお話も有名です。当然、布施として自らの命を捧げる必要はありません。そのくらいの気持ちをもってという例えでもあります。しかし近年は自ら捧げるどころか他人の物を奪うことに知恵を使う事件が多発しています。本来知恵とは物事の道理を判断し、正しく処理していく能力のことです。さらに仏教では智慧という言葉を使います。これは物事の真理を見極める認識力という意味合いがあります。物事の道理を判断する知恵と仏の智慧をつかい、奪うより与えることのできる布施行を心がけていきましょう。

連載 第三回

安善寺の歴史

昌興寺住職

石田 哲彌

(新潟県文化財保護連盟理事)

(3) 栖吉城主、長尾房景と長翁存宗禅師

存宗禅師は当時、曹洞宗の普及活動において、指導的役割を果たしていた名僧であったがゆえに、その知名度は高く、世情にも長けていた、いわば国際人であった。当然、地方領主の栖吉城主(蔵王堂城主も兼ねるか?)、長尾房景にとつて同禅師は教養豊かな知識人として得難き存在であったに違いなかった。房景はさつそく存宗禅師をよき指導者として仰ぎ、なにかと相談したに違いない。やがて二人は入魂の仲となったものと推測する。しかも、普濟寺が



栖吉普濟寺に伝わる長翁存宗禅師頂相

栖吉城の麓に鎮座していたことから、両者は呼ば聞こえるという、地理的にも応呼の関係にあり、ある意味では表裏一体の存在となつていったのではないかと推測される。

ここに、中越地方の盟主、栖吉城主・蔵王堂城主、長尾房景と普濟寺住職、長翁存宗禅師との深い結びつきが生まれ、中越地方における新しい気運が生まれたのである。

その再出発を促したのほほかでもない、国主、長尾晴景の弟、それまで林泉寺において修行していた長尾景虎の栃尾城登場であった。
(4) 長翁存宗に三貫梨城の城

主、金原大膳が帰依

三貫梨とは悠久山の東南にあり、通称「御山町」といわれている。伝承によれば、かつてこの三貫梨に城があり、その城主は金原大膳であったという。彼は存宗和尚に帰依し、その弟子となつた。そして普濟寺に入り長翁秀大と号したといわれている。伝承では、この時、普濟寺は「三貫梨(御山町)」から出来坊(栖吉城麓)に移転し、普濟寺を曹洞宗に改宗したという。移転の説は文献には存在していないが、以外にも真説かもしれない。

なお、三貫梨には「乳銀杏(ちちいちよう)」と呼ばれる銀杏の太木がある。金原長者(三貫梨城の城主、金原大膳か)の娘が都から携えてきた銀杏の杖を土に立てたところ根がはえて大きくなった、それが「乳銀杏(ちちいちよう)」であるという。

(3) 長翁存宗禅師、安善寺の法灯を分採して神田に安善寺を建立

(1) 栃尾城に国主の名代、中郡の郡司長尾景虎の登場

古志郡の軍事拠点、栖吉城と麓に存在する名刹、普濟寺の関係が栖吉城主、長尾房景と長翁存宗和尚によつて築かれた。ところが、ここに新たな関係を促す思いがけない気運が生まれたのである。長翁存(昌)宗禅師が普濟寺住職となつた6年後、天文12年(1543)のことで、先の長尾景虎の登場である。

ことの発端は国主、長尾晴景の弟、まだ13歳という、うら若き長尾景虎が古志郡司、栖吉城主長尾房景の養子に入ったのである。

景虎は7歳の時に林泉寺に修行に出されていたが、風雲急を告げる情勢の中で、晴景は弟の景虎を栖吉長尾氏に養子に出し 国内の安定をは

かつたのである。

長尾晴景の親族融和政策の一環である。養子となつた景虎にはさらに国主の名代、中郡(蒲原郡、刈羽郡、三島郡、そして古志郡の4郡)の郡司という、中越地方を束ねる司令長官という重い役職までついできた。

これは一大事。一挙に多様な問題が起こつた。

最大の問題は、いかにしてこの高貴なプリンスを護衛し、守護するかであった。加えて大きな問題は中郡を管轄する政庁をどこにおくか。国主の弟という幼きプリンスを誰が教育し、一国の武將に仕立てあげるかであった。

結果、攻めがたく守りやすい栖吉城の中核の城、栃尾城に中郡の郡司、長尾景虎を迎え、そこを中郡の拠点とし、政庁とする。その指導者に栃尾城主の本庄新左衛門尉実乃が選抜された。本庄実乃は青

木村の豪族出身。頭脳明晰、武勇文芸にすぐれ、軍師としても秀でていた。景虎の指導者としてはまさに打ってつけの新進気鋭の武将であった。以降、彼は終生、景虎の傍にいて軍師や外交官として活躍、さらに重臣を指導。卓越した戦略によって景虎を関東管領にまで押しあげ、天下統一にあと一步にまで迫ったのである。

なお、景虎が在城する栃尾城を中心に栃尾城を取り巻く周辺の砦（山城）を徹底的に改築。一方、蒲原から栃尾に入りこめないように、東山から信濃川周辺の蒲原の平野部にいたる広大地域を、古志長尾氏の根拠、蔵王堂から栖吉城―見附城ラインの外部城郭をしっかりと構築したのである。その一環としてなされたの



お堀が残る城跡

が、蔵王堂城・蔵王権現（別当安禅寺）と栖吉城・普濟寺の連携をしっかりと固めることであった。こうして長尾景虎を統領として迎えた、古志長尾氏の万全の守備体制であった。

事実、景虎、栃尾に下向の噂が広まるや、各地から栃尾に向かって敵軍が押し寄せたが、景虎は若年ながら、こうした敵軍をことごとく破り勝利を得たと、後年、述懐している。すでに景虎、後の上杉謙信はすでに少年時代から麒麟児の片鱗を見せていたのである。

(2)安禅寺と普濟寺をつなぐパイプ的存在、安善寺の建立
先の蔵王堂城と蔵王権現、別当安禅寺、栖吉城と普濟寺の連携についてさまざまに検討された結果、別当安禅寺と

普濟寺をつなぐパイプ役的寺院を建立することであった。そこで、蔵王堂と若干離れた位置、神田に「蔵王山安善寺」が建立が計画されたのであった。その主役は普濟寺住職、長翁存宗禅師であった。

神田は、かつては大沼と呼ばれた沼地であった。そこにはかつて「大沼城」が築城されていたという。現在の安善寺境内にあたる場所である。

『ふるさと 長岡のあゆみ』によれば、鎌倉時代の永仁年間（1293～1298）に北条仲時の一族の北条丹波左近惟秋（これあき）とその子、惟明（これあき）の2代が居城したとある。しかし、元弘3年（1332）、北条仲時・惟秋は近江で自害、老臣渡辺勘解由（かげゆ）惟光が城主の家族を見守り、野武士に終われた後も城跡の裏に住み、主家の墓を守ったという。

永仁年間といえば、蔵王権現が寺泊町矢田から又倉（蔵王堂）に遷坐した時代である。そうした城（館）が存在した要害の地に安善寺が建立されたのであった。

安善寺開山の存宗禅師は安善寺建立にあたり、別当安禅寺に3年間、寄寓（寄宿）していたとある。つまり、存宗禅師は安禅寺を拠点として建築状況を見守っていたものと推測される。当然この時、安禅寺の住職とも入魂の仲となり、安禅寺の歴史や法灯についてもじっくり学んだのではないかと思われる。

かくして安善寺が落慶を迎えると存宗禅師は安禅寺の法灯を分採（分かち与えられ）されて安善寺に入り、開山となったのである。

こうして別当安禅寺と蔵王山安善寺は切っても切れない兄弟的な関係となったのであった。宗派も異なることもあったが、本末関係ではなく、共に蔵王権現を護る連携関係が樹立されたのである。

かくして長尾家の蔵王堂城（安禅寺）と栖吉城（普濟寺）との間をつなぐ楔（くさび）が、神田に生まれたのである。

なお、長翁存宗禅師は両者の揺るぎなき関係が構築されると、二世にバトンタッチをし、自らは普濟寺にもどって、

入魂の仲の栖吉城主、長尾房景と語り合いながら余生を過ごしたものと推測される。

なお、普濟寺住職が安善寺住職になるという緊密な関係は3代にわたって続き、両寺院の本末関係を揺るぎないものとなった。

かくして中世の戦国時代、長尾景虎の登場によって中越では、神田安善寺を軸に蔵王堂城―蔵王権現・別当安禅寺―栖吉城―普濟寺が強く結ばれたのであった。

長岡市の歴史の中樞を貫く揺るぎない機能的な関係が長翁存（昌）宗禅師という人物を中心に構築されたのであった。まさに普濟寺住職長翁存宗禅師の手腕によるものであった。そして、長尾景虎はこうした磐石の基礎を礎子にして、越後を肅正。勇躍、春日山城に上り、越後守護、国主となり、さらには將軍につぐぎ実力者、関東管領に就任。天下統一に向かったのである。

次回 [4] 堀丹後守直寄、長岡城を築城。併せて壮大な都市計画敢行に続く

第30回「KAKA笑の会」 安善寺で7年ぶりの表現活動

和泉 妃夏

ピンチという名の「障害」が、チャンスという名の「希望」に。

7年ぶりにまた、温かく迎えてくださり、手作りカラーの美味しさが心身に染みましました。感謝ばかりです。

あれから、私は株式会社Fappy（ファッピー）を立ち上げました。見つけたハッピーが自分だけのものではな

く、Farと遠くまで広がるようにと想いを込めたFappy。Pが向かい合わせで私とあなたと同じ。という想いも込めました。舞台、イベント、映像、様々な表現を通じたハッピー活動をしています。

前回披露させていただいてから、コスチュームを進化させていまして、一人芝居の方は、障がいを抱えた男子3人のアートをプリントした衣装でした。私の表現活動を通し

て3人の夢も広げられたらと思いい、初めてのお披露目でした。3人は、絵を描いたり、文字に綴ったりする才能があります。また、そういった表現を見つけれずに苦しんでいる仲間たちもいる。そういう方々を助けるために、インクルーシブ教育（障害や宗教や国の違いなど関係なく皆一緒に分かち合い助け合い学び合う教育）を広めたいという想いが彼らにはあります。

彼らの活動が広がることにより、3人だけではなく、他の方々にも幸せが広がればいいなと思っています。（Fappy Storeで検索していただき

ますと3人の描いたイケメンTシャツを販売しています。）
また、スティルトという器具を履いた落語も、義足をイメージしてしました。歩くことの深さを感じることに、当たり前のことはなく、奇跡のような有難い命を生きている。ということ落語の内容と共に、コスチュームからも皆様に私自身の抱えるメッセージが届いたら幸いです。

彼らと関わって、障がいに出会わないと得られない「希望」があるんだと感じました。

ピンチはチャンスに！ピンチピンチチャンスチャンススラン卵々。（高座名はらんらん）。私たち、遅かれ早かれ、皆持つ「障害」に巡り合った時に、そのピンチという名の「障害」がチャンスという名の「希望」になれたらと思っています。

皆様と共に、心を躍動させられる時間を持たら幸いです。どうぞ、また宜しくお願ひします。愛を込めて！



様々な衣装を身に着けて



障害を持った子供たちデザインの着物



スティルトを履いた落語

株式会社Fappy
（ファッピー）
ホームページ
<https://fappy.com>



長年の夢が叶いました!!

東堂 翠巖龍弘

本堂の内陣とは堂内を区分するうちで、中央の奥まった場所、仏教寺院ではここに須弥壇(須弥山にかたどった佛像を安置する壇)を置き、本尊様を安置する最も重要な場所です。

禅宗寺院の場合、板張りを通例とし、特に荘厳に校飾せられるを常とされており、平成五年〜六年の本堂大改修の時は予算の関係もあり、内陣に合板を用いました。平成十六年の中越大震災で、落下物等で多くの板に傷ができ、いずれは檜材で張替



施工前



施工後

えたいと願っており、時機到来でしようか今年二月に株式会社放光さんに話したところ、よい檜材があるとのこと、早急準備に入っても、四月八日からは本堂で、赤無節(新潟産で十年以上の乾燥材で、長さ十三・五尺、幅一・五尺、厚み八・五寸)の檜材で床面積は約七十一坪(234㎡)を吸付(すくひ)加工(反り止め)、入れ実加工の施工方法で内陣床張替工事、四月十三日写真のように立派な内陣が完成しました。お参りの際には是非ご覧ください。



施工後 須弥壇を戻す前



床板を全て剥がし

安善寺よろず掲示板

『寺行事予定』

八月 一日

盆参 (新盆)

十二日

盂蘭盆会法要 (墓施食)

十四日

新盆棚経

十五日

お盆供養法要 (午前・午後)

十七日

墓地大清掃

*新盆の方には改めて法要と棚経のご連絡をいたします



安善寺 庭園型樹木葬 『翠緑の小径』



【お問合せ】株式会社 放光
フリーダイヤル 0120-811-112

安善寺 樹木葬墓地ご案内ページ
<https://anzenji-jyumokusou.com/>



仏さまのおすそわけ 数珠つなぎフードパントリー

～誰ひとりとり残されない世の中に！お寺を提供の場へ～

食材や日用品の提供にご協力ください!!



* 詳細はお寺にお尋ねください *

主催：長岡市仏教会青年部
協力：新潟県フードバンク連絡協議

第一〇七号は令和六年九月十日(火)発刊予定です



夏が来ると、毛皮の私たちは、暑い！

でも子供たちは、元気に学校へ行き、

日に日にこんがり、いい色だ!!



夏本番前だというのに暑い、とても暑い。少しでも涼しくなりたくて冷たい床にゴロゴロする毎日です。

そんな私達を飛び越えて「行つてしまふ」と元気に学校へ行く子供達は日に日にこんがりいい色になっています。

真人君は長年頑張ってきたバスケットをやめて心機一転、陸上部に入部し、走り高跳びを選択。インドアからアウトドアへの転向でみるみるうちに



冷たいこの場所がお気に入り



自慢の長毛もこれからの時期は...

いい色に、悠真君の日焼けは炎天下の中、六年生最後の運動会で応援団員を立派にやり遂げた証です。今後はプール授業やマラソン大会があったりと日に焼けることが多くなります。昔はこんがり焼けた子供たちは健康なイメージでしたが今の子供達は日焼け止めを塗ったり、サングラスをかけて眼を保護することを推奨されているそうです。長い年月過度に紫外線に浴

びると大人になってから皮膚がんなどの病気になる確率が上がると言われていて、小さい頃からの予防が大事だそうです。幸い私達猫はその心配はありませんが、毛皮に覆われて、今後どんどん暑くなる日々に耐えられるかどうか不安です。

編集 雑感 この原稿を書いている令和6年6月は長岡市の気温が35・5度と全国一暑い日を記録した雨の少ない梅雨でした。今回は大人の食物アレルギーについて話題提供したいと思います。

大人の食物アレルギーの中には、魚介類を食べると蕁麻疹が出たり、口が痒くなる人がいます。そういう人は繰り返し症状が出るため魚アレルギーを疑ってクリニックに来られます。しかし血液検査を行うと、実際には食べて症状のあった魚ではなく寄生虫であるアニサキスに対して検査陽性となる場合があります。

お便り原稿用紙
皆様からの原稿をお待ちしております。
原稿の例
●思い出話／ご家族、ご先祖、お寺の思い出話など。
●私に言わせて／家事や子育てのお話、身近な出来事など。
●教えてください／仕事のしきたりや疑問（編集部や住職がお答えします）など。
FAX 0258-32-2870
〈原稿送付先〉メール info@anzenji-nagaoka.com
HP にも申込フォームがあります

また魚アレルギーもなかなか厄介です。特定の魚だけで症状が出る人よりも、赤身も白身も関係なくいろいろな種類の魚でアレルギーを起こしてしまう人の方が多いです。症状は口が痒くなる、少しだけ蕁麻疹が出るなどエビや蕎麦の症状よりも軽いことが多いですが刺身も焼き魚も症状が出るので魚が食べられなくなります。

(太田 匡哉)